



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月30日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
 コード番号 3190 URL http://www.yg-hotman.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役営業本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,751	3.7	6	—	21	—	△24	—
27年3月期第1四半期	4,581	—	△91	—	△77	—	△63	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.34	—
27年3月期第1四半期	△8.67	—

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成27年3月期より行っているため、平成27年3月期第1四半期の増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	13,806	5,679	41.1	780.61
27年3月期	14,210	5,777	40.7	794.15

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,679百万円 27年3月期 5,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,420	6.7	△450	—	△440	—	△330	—	△45.36
通期	22,630	7.6	410	19.7	430	6.5	210	107.2	28.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	7,275,500株	27年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	7,275,500株	27年3月期1Q	7,275,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済環境は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安による物価上昇などで個人消費は回復までには至っておりません。世界経済では、新興国経済の鈍化や欧州経済の停滞もあり、国内景気を下押しするリスクに留意が必要であり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社の出店エリアにおきましても、消費者の節約志向が継続する中、売上高は底堅く推移致しました。

そのような環境の中、当社におきましては、会社方針に「ホットマンは深化・進化・新化する集団〈行動の数だけ結果が出る〉」を掲げ、消費増税に備え営業力を盤石なものにすべく、基本に立ち返り「挨拶」「掃除」「結果につながる行動」を3つの柱とし、徹底・強化をはかって参りました。

平成27年4月に福島県本宮市と長野県安曇野市にイエローハット各1店舗の新規出店を行い、フランチャイズ契約の終了によりガリバー事業(3店舗)を撤退致しました。同年5月より新たにカーセブン事業を開始しており、当第1四半期累計期間末の店舗数は、イエローハットが84店舗(前年同期比4店舗増)、TSUTAYAが10店舗、アップガレージが6店舗、カーセブンが3店舗(前年同期比3店舗増)、ダイソーが2店舗、自遊空間が1店舗、宝くじ売場が5店舗、セガが1店舗の合計112店舗となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は4,751百万円(前年同期比3.7%増)の増収となっております。経常利益につきましては、21百万円(前年同期間は77百万円の経常損失)の増益となっております。主な増収増益の要因は、平成27年4月のタイヤ販売・車検等サービス部門の売上が好調であったことによるものとなっております。四半期純損失は24百万円(前年同期間は63百万円の四半期純損失)となっております。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、平成27年4月に福島県本宮市にイエローハット本宮戸崎店、長野県安曇野市にイエローハット安曇野店の新規出店を行っております。イエローハットの重点販売として、昨年に引き続き車検・整備を中心としたサービス部門の強化をはかると共に、リピート率の高いカード会員の獲得に積極的に取り組んで参りました。平成27年4月はタイヤ販売・車検等サービス部門の売上が好調であったものの、同年5・6月の売上高は比較的低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,747百万円(前年同期比6.4%増)、セグメント利益(営業利益)は60百万円(前年同期間は14百万円のセグメント損失(営業損失))となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、主力であるレンタルと書籍販売で苦戦したものの、高利益商品の販売に注力し、減収増益となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高609百万円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益(営業利益)は22百万円(前年同期比90.7%増)となっております。

[その他]

アップガレージ事業におきましては、安定した運営状況で、売上高は比較的順調に推移致しました。

平成27年5月より、新たに開始したカーセブン事業におきましては、車輛展示等の外部アピールを積極的に実施し、集客活動に注力したことにより、売上高は比較的順調に推移致しました。

自遊空間事業におきましては、震災復興関連需要の鎮静化に伴い来店数が減少し、売上高は低調に推移致しました。

ダイソー・宝くじ事業におきましては、売上高は比較的順調に推移致しました。

なお、ガリバー事業(3店舗)につきましては、平成27年4月に撤退しております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高394百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益(営業利益)は19百万円(前年同期比16.4%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は570百万円減少し、6,643百万円(前事業年度末7,214百万円)となっております。これは主に、未収入金(その他の流動資産)が315百万円、商品が116百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の残高は166百万円増加し、7,162百万円(前事業年度末6,996百万円)となっております。これは主に、建設仮勘定(その他の有形固定資産)が141百万円減少したものの、建物が254百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産残高は13,806百万円(前事業年度末14,210百万円)となっております。

② 負債

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は504百万円減少し、4,954百万円(前事業年度末5,459百万円)となっております。これは主に、短期借入金が300百万円、未払法人税等が225百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は198百万円増加し、3,172百万円(前事業年度末2,973百万円)となっております。これは主に、長期借入金が175百万円、退職給付引当金が26百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は8,126百万円(前事業年度末8,432百万円)となっております。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は98百万円減少し、5,679百万円(前事業年度末5,777百万円)となっております。これは主に、四半期純損失を24百万円計上並びに剰余金の配当を72百万円支払ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日の「平成26年3月期 決算短信」で公表致しました第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,154	656,174
売掛金	470,167	372,276
商品	5,019,538	4,903,352
貯蔵品	1,409	1,337
その他	1,047,021	710,246
貸倒引当金	△60	△41
流動資産合計	7,214,231	6,643,345
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,403,772	2,658,647
土地	1,861,666	1,868,902
その他(純額)	678,068	607,612
有形固定資産合計	4,943,507	5,135,162
無形固定資産	71,646	68,255
投資その他の資産	1,981,331	1,959,524
固定資産合計	6,996,485	7,162,943
資産合計	14,210,717	13,806,288
負債の部		
流動負債		
買掛金	965,669	821,873
短期借入金	2,300,000	2,000,000
未払法人税等	241,729	16,622
賞与引当金	104,416	15,416
ポイント引当金	230,307	237,506
その他	1,617,318	1,863,321
流動負債合計	5,459,442	4,954,740
固定負債		
長期借入金	1,629,150	1,804,750
退職給付引当金	802,549	828,559
役員退職慰労引当金	129,495	130,576
資産除去債務	138,255	142,410
その他	274,010	265,955
固定負債合計	2,973,459	3,172,251
負債合計	8,432,902	8,126,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	3,224,552	3,127,530
株主資本合計	5,635,843	5,538,821
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	141,971	140,474
評価・換算差額等合計	141,971	140,474
純資産合計	5,777,815	5,679,295
負債純資産合計	14,210,717	13,806,288

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,581,049	4,751,656
売上原価	2,592,733	2,578,411
売上総利益	1,988,316	2,173,244
販売費及び一般管理費	2,080,023	2,167,104
営業利益又は営業損失(△)	△91,707	6,140
営業外収益		
受取手数料	8,676	8,602
受取賃貸料	13,341	13,445
産業廃棄物収入	9,436	8,198
その他	10,145	9,990
営業外収益合計	41,599	40,236
営業外費用		
支払利息	17,290	12,685
賃貸収入原価	8,646	10,805
その他	1,460	1,436
営業外費用合計	27,397	24,927
経常利益又は経常損失(△)	△77,505	21,449
特別損失		
減損損失	—	7,964
固定資産除却損	508	205
特別損失合計	508	8,169
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△78,014	13,279
法人税、住民税及び事業税	8,771	9,014
法人税等調整額	△23,678	28,531
法人税等合計	△14,907	37,546
四半期純損失(△)	△63,106	△24,266

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエローハット	TSUTAYA	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,523,660	627,493	4,151,154	429,894	4,581,049	—	4,581,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,065	350	4,415	820	5,236	△5,236	—
計	3,527,726	627,844	4,155,570	430,714	4,586,285	△5,236	4,581,049
セグメント利益又は損 失(△)	△14,781	11,733	△3,047	17,151	14,103	△105,811	△91,707

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アップガレージ事業、ダイソー事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△105,811千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエローハット	TSUTAYA	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,747,591	609,351	4,356,943	394,713	4,751,656	—	4,751,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,134	421	7,556	1,141	8,698	△8,698	—
計	3,754,726	609,773	4,364,500	395,854	4,760,354	△8,698	4,751,656
セグメント利益	60,613	22,372	82,985	19,960	102,946	△96,806	6,140

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アップガレージ事業、ダイソー事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△96,806千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。